講座名（専門科目名）	循環器内科学	教 授 氏 名	坂田泰史
学生への指導方針	どんな山でも自分の足で登ることは、苦労が伴います。この教室では、将来基礎研究にて主任研究者（PI）を目指す方から、臨床現場に戻る方までそれぞれの指向性に合わせ、山への登り方、それを若い人に伝える方法を学ぶところから始めて頂きます。高い山に登ることができるかどうかは、それぞれの努力次第です。		
学生に対する要望	是非、自分の研究分野に固執するのではなく、広い目を持って、科学を楽しんで欲しいと思います。		
問　合　せ　先	(Tel) 06-6879-3640 (Email) kioka.hidetaka.med@osaka-u.ac.jp	担　当　者	木岡　秀隆（医局長）
その他出願にあたっての注意事項等	特記事項なし		

（以下教室紹介）

大阪大学医学部附属病院循環器内科には、心臓移植候補をはじめとして、冠動脈疾患、不整脈疾患、心臓構造疾患、心筋症・心外膜疾患といった多彩な重症症例が全国から集まっています。循環器内科学において最も重要なことは“心不全・突然死を治療・予防し、患者さんに幸せに生きてもらうこと”にほかなりません。大阪大学循環器内科学教室では『大阪発の新しい循環器医療を世界の患者さんに届ける』ことを目標とし、①適切な仮説の提示、②病因の同定、③病態の解明、そして④臨床への応用という 4 つの視点に立ち、各研究グループが協力して研究を進めています。当科では Human Sample Center として症例の血液、心筋組織検体の蓄積と、不全心筋組織遺伝子発現データベースの構築、疾患 iPS の樹立等を行ってきました。それら貴重な Human Sample を各研究グループで活用し、最終的には患者さんのためになる研究を進めています。また、臨床医学とテクノロジー、そして産業をつなぐ産学医工連携のフレームワークにて、医療機器の研究開発と実用化にも取り組んでいます。

循環器内科では、下記 9 つのグループが、『大阪発の新しい循環器医療を世界の患者さんに届ける』ことを目標に研究開発を進めています。

- 病態分子探索グループ
- 分子心臓病研究グループ
- 循環器脂質・動脈硬化グループ
- 心血管再生グループ
- 多施設共同臨床研究グループ
- 重症心不全内科治療学グループ
- 心筋・不整脈・臓器連関臨床研究グループ
- 虚血 SHD 臨床研究グループ
- 産学医工連携・医療機器開発グループ

研究内容など詳細は、下記ホームページ（QR コード）をご参照ください。
http://www.cardiology.med.osaka-u.ac.jp/?page_id=46